

ひらぽう



第30報（令和元年10月）

9月21日（土）にウィルフESTAに参加し、ひらぽメンバーが製作した木工作品とハーバリウムをワンテールショップにて販売しました！今回は、そのときのみんなの感想をご紹介します！！

ウィルフESTA当日の感想

- 昨年より訪問客が少なく、ちょっぴり残念でした。活動展示のほうが目目を浴びていて、良かったのではないのでしょうか。
- 去年に比べてお客さんが少なくて、楽ではありましたが、なにか寂しかったです。
- まずまず売れたので、楽しかったです。

木工製作の感想

- 今年は初めての木工に挑戦したんですが、慣れない作業・立て続けにやってくる雷雨と色々あって当日まで作業をすることになってしまっていて大変でした。来年こそは余裕が欲しいなあ…（←2回目）
- 深刻な人手不足で、ブラック企業を感じました（^_^;）

ハーバリウム製作の感想

私は今回ウィルフESTA当日は参加できませんでしたが、ウィルフESTAに向けての準備には参加させていただきました。そしてその準備というのはハーバリウムの製作！

ハーバリウムも準備自体も初めてさせてもらった私ですが、正直とても良い経験になり、誰かのために心をこめて作るということへの大切さもより強く感じました。ハーバリウム製作、今回は見る側としてではなく作る側としてなので、とても新鮮な気持ちとまた少し緊張した気持ちにもなりました。ハーバリウムを作っていく過程で、“どういう感じがいいのかな”“どういうイメージで作ろうか”などたくさん悩んだり、色々ありましたが、なんといってもやはり自分達一人一人の個性がよく作品に現れるところがハーバリウムの良さの一つなのかもしれません。今回のハーバリウム製作をするなかで、作品を作る楽しさ・作品を手にとってもらえるようにと真心を込める思いなど、様々な思いがまじりながらも、他の皆さんの作品も見れたこと、とても有意義かつ楽しい一日になりました。（またの機会があれば是非次回も参加させていただきたいものです。）

もうひとつのフェス

実は私、鉄道が好きなのです！なので、皆がウィルフESTAに参加している裏で、ひっそりと叡山電鉄とまんがタイムきららのコラボフェス撮影に行ってきました。今回の写真は、その撮影報告です。



子ども・若者支援のための市民講座を開催しました！

9月14日（土）、さまざまな生きづらさを感じている若者やその家族が、ひとりで背負わず相談できる場所があることをお届けする講座を開催し、105名の参加がありました。

ひとりで背負わず
みんなでいっしょに
考えませんか

～ひきこもりや不登校の
子ども・若者の自分らしい
自立にむけて～

第1部 講演 『自分らしい自立へのステップ

～ひきこもり支援の現場から～』

藤村 泰王 さん(NPO 法人淡路プラッツ・精神保健福祉士)

第2部 枚方市での相談・支援窓口の紹介

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市自立相談支援センター

北河内地域若者サポートステーション

あおい教育支援グループ

枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会



※第1部、講演会

☆当日は、ひらぼメンバーやあおい教育支援グループの若者のみなさん、サポートフレンドのみなさんにも準備や運営のお手伝いをいただきました。みんなでつくる会となったならうれしいです。ご協力、ご参加ありがとうございました。

手伝ってくれたひらぼメンバーの感想です！

9月14日に、ひきこもりについての市民講座が開かれるという事で、生まれて初めてボランティアに参加してみました。

今回参加した理由に「普段試したことがない事に挑戦してみたい」という思いがあったからです。

そして選んだのが受付でした。

対応ができるだろうか…という不安もありましたが、ひらぼのスタッフさんがそばにいてくれたおかげで、心強く緊張してても笑顔で挨拶ができました。

今後の仕事への自信につながったように思います。(かなえ)

市民講座にボランティアとして初めて参加しました。講座が始まる前に会場の設営をしました。机を並べたり、イスを設置したりしました。講座が始まる前、自分がお世話になっている若者サポートステーションの方たちやサポートフレンドの方も来ていらっしやっていたのでご挨拶させて頂いたりしました。講演では、淡路プラッツというひきこもりの方の居場所を主催している会の藤村さんの話を聞きました。ひきこもりの定義、現状、きっかけなどを改めて聞いて理解を深めました。講演で一番印象に残っているのは、最初は居場所に来ることが目的でのに居場所に来ることが息抜きになるということです。正直、自分も仕事を始めて、月に1回か2回ひらぼに参加させて頂いて、本当にひらぼの有り難みがわかりました。ひらぼで日頃の疲れを癒しているというのが本当のところだと思います。今回初めて市民講座に参加してみて本当に良かったと思いました。(M.H)

～発行元・お問い合わせ先～

枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター（枚方市子ども総合相談センター **となと** 内）

電話：050-7102-3228 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952